

花 <選んだ理由>

<p>ツツジ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・春の花として新緑の時期を象徴して京丹波町にふさわしい。 ・丹波の入り口からツツジロードにしたい。 ・野に山に濃いピンク、赤、白等、私達の心をなごませてくれる花。 ・ツツジは一輪ずつ咲くのではなく、美しくまとまって咲く。京丹波町も旧町関係なく協力し合い、美しい町にしたい。 ・町内どここの山でも春になれば美しい、やさしい花が咲きます。 ・京丹波の里には春になると色々なツツジが咲きます。珍しいヒカゲツツジも琴滝には咲きます。(写真添付あり) ・5月～6月に山裾のいたるところに多く咲く。又観賞用として春から夏にかけ多くの人が育てている。花の種類多い。 ・公園や沿道にきれいに咲いていますので心を和ませてもらいます。 ・旧丹波町時代よりなじんでいる。 ・五月晴れの下で咲くツツジは赤白と美しく、町外からのお客さんを招くふさわしい思いをさせてくれる花です。 ・自然公園や土手に咲く美しいツツジ。手入れされ大きく育ったツツジは田植えの頃に美しく咲きます。新緑が美しい京丹波町に色をそえています。 ・自然の里、山々に咲く花。 ・ツツジが大好き。 ・活力。 ・旧丹波町、以前より親しまれている。 ・厳しい冬をじっと耐えていち早く咲くツツジ。桜にも劣らず山々を彩る。つつましいツツジ丹波の山にピッチ。 ・春になると山や庭園でよく見られイメージが良い。 ・自然公園に赤松の間に美しく咲いているツツジを町一杯に咲かせたい。 ・色も種類も多く長く咲くので。 ・道路傍や中央に美しく咲いているツツジは町花にいいと思う。花の後の葉も美しく年中楽しめるが手入れがしてないとダメである。 ・町中心地蒲生ヶ原に咲く。 ・自然公園や国道その他里山など多い。 ・自然公園のツツジがとても美しい。 ・小学生の頃、通学途中でよく見かけた印象がある。
<p>ササユリ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然とそこに住む人の清楚な人柄を感じさせる美しい花です。 ・旧和知町のがよるしいから。 ・子供の頃山に取りに行った。 ・田植えが終わった頃の山辺淡紅色の花で一面なった。昔が懐かしく、元の自然に戻ってほしい。 ・やさしい花。 ・毎年6月中旬、わち山野草の森で可憐なササユリを見えています。他府県から多くの方が見に来られています。 ・花の内面に斑点があり、山の匂いのするササユリがよい。 ・昔から町内の野山で自然の中ではひときわよく目立ち美しい花である。 ・自然の野生花で町内各地に咲いている。丹波高原のシンボルにふさわしい花である。白地の花が咲く風景は自然度の豊かさを示している。 ・和知地区のイメージ。ササユリと和知地区のイメージが重なって良いと思う。 ・京丹波町のイメージ山里にふさわしい。 ・新緑の山の中にひっそりと咲くササユリ。可憐な花だがとてもいい香りがし、人々の気持ちを和らげてくれる。田舎の中のオアシス京丹波町にピッタリだと思う。 ・ユリといえば頭を下げやさしい花です。京丹波町に似合うのではないのでしょうか。 ・香りは高貴な感じで香りによりササユリが咲いていることが分かる。可憐で初夏のイメージ。 ・楚々として咲く姿が印象的。花ことばは清浄、上品、珍しい。 ・梅雨空の下でのササユリの姿が印象的である。 ・山にそっと咲いています。しとやかで愛らしくて大好きです。

花 <選んだ理由>

<p>サザンカ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・美しさ。 ・旧瑞穂町の時、サザンカの苗木を二本ずつ配っていただきました。今は立派になりきれいな花が沢山咲きうれしいです。 ・たくさん花を付け、美しい長命の木。皆が花になったら助け幸せになるように思える。 ・つばき科の常緑樹で秋から冬にかけて白又はうす紅色の花が咲きます。町財政の厳しい折、さざんかの様に寒さに耐え強くたくましく健全な町政に益々発展しますように願って。 ・情熱的な花。 ・おとなしい花。ひかえめな花。 ・旧町のシンボルは消えないでほしい。寒さに負けない町への願いを込めて選びました。 ・サザンカの花が大好きだから。 ・各家々の庭先に植えてある瑞穂のシンボルのサザンカが終わりを告げたのかと寂しい思いです。11月頃より寒さに向かう季節、甘い香りの長く咲く花。京丹波町のシンボルとしてもう一回呼び返させてください。機会があれば苗木お願いします。 ・やさしそうな、かわいい花。京丹波町もやさしい町であってほしい。 ・町のシンボル ・冬の寒さに耐えて花を咲かすので、厳しさに耐える事も大切と思う。 ・どこの庭にも咲いていて、親しみやすいかと思えます。 ・寒い時に元気がほしい。 ・旧瑞穂町のシンボルであるが、花のない冬の時期に咲く貴重な耐寒性常緑高木であり、困難な時代を生き抜く現代のイメージリーダーとできる。
<p>サクラ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・覚えやすい。 ・旧3町の各所に桜並木や桜公園が有り、今春の美女山も山桜が多くなっている。 ・どんな桜でも花が咲けば春が来たと身も心を冬衣をぬぎ、さあがんばろうと希望をもたせてくれる花。「まあ、きれい」と見とれる間惜しげもなく散る花。いつまでも浮かれず、心ひきしめてがんばれと私達に教えてくれている様な思いがします。 ・満開はとともきれいです。 ・長い冬からようやく春を感じさせ、皆が待つ花。この頃新学期、新年度も始まり桜と共に春を感じ歩み新規の心構え、新規の生活が始まり、幼児から老人まで皆が花も名前も知っていると思うから。 ・桜は花一番であり町内に多く見られるようになった。 ・植樹活動のおかげから最近あらゆるところで桜並木を見れるようになったから。 ・日本の代表的な最も好まれている花であり日本人の心の花であり候補にしたい。 ・風景によく合うから。
<p>ヒマワリ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽のように明るく心をなごませてくれる。 ・太陽のように明るい気持ちになり、常に上を向いて大きく成長する姿は町にも必要なことだから、町民の皆様にも育ててもらい、心にも大きなひまわりを育ててほしい。 ・太陽のように。 ・花も大きく雄大である。種子は食用油に。 ・太陽に向かって咲くヒマワリのように元気な町となるように願いをこめて。 ・元気な感じで綺麗な風景だからです。 ・太陽に向かって力強く花咲く姿に元気をもらえことから、京丹波町のイメージにもっともふさわしいと思うため。
<p>コブシ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・美女山を含む山々の肌に白く目立つ花はその年の気候を知らせる咲き方をする。上向く花、横向く花、下を向く花。 ・周囲全山で年々増加しているように見受けられます。ほっとした故郷感に浸れます。 ・春の訪れを告げる花で、京丹波町の山にもシーズンには沢山咲いています。開花の時期当たりから農作業を始めたり、農作物と縁があるかな？と思います。 ・春一番に京丹波町の山を白く彩る「コブシ」の花は明るい未来を目指す京丹波町の象徴としてふさわしい。 ・早春、山の木々が芽吹きはじめる頃、毎年山が白く見える位、コブシの花が咲いてくれます。(うれしくなります)

花 <選んだ理由>

<p>フジ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な野山に自生して一房に無数の花を付ける様は豊かさの象徴のようである。 ・丹波町全町で自生し紫色が五月の空に映え美しい家紋にもあり親しみやすい。 ・4月～5月の新緑の中で淡紫色の垂れ下がる花が美しく、数多くの蝶形花で一つの房状の花となるフジは、町民が集う姿を写しているようである。 ・フジの花がふるさとの山々に咲くのを見ると春が終わり新緑の力強い季節が始まるのを知る。きゃしゃな控えめなイメージだが新しい季節、始まりを告げる花。 ・山に沢山咲いてるから。
<p>ウメ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・寒い冬にじっくりと準備して春に先駆けて咲く梅の花。凜として長い期間咲き続けます。私は生きる上の目標としています。 ・清楚な花。 ・早春葉よりも先に香り高い可憐な花を咲かせるのは花栄草とも言われている花後の種実は健康果物として広く用いられる。 ・冬の気象で条件の悪い時期にたくましく咲く花。年の始めに咲く花。
<p>スイセン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家の庭や道路沿いに植えられて、春になるととてもきれいに咲いています。 ・春先に町内の多くの所で咲き姿がきれいです。 ・やさしい咲き方であるのに、どのような場所でも花をつけ咲く強さがあると思う。
<p>イワカガミ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・京丹波町の最高峰「長老ヶ岳」に群生する高山植物。他の自治体にはない個性的な花。 ・長老ヶ岳に咲く花。 ・町の最高峰。長老ヶ岳に群生する。高山植物。夏に花を咲かすピンクの華麗な花。
<p>シダレザクラ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・京丹波町には沢山の桜の花が咲いています。とってもきれいです。 ・しなやかで美しい。色もきれい(ピンク) ・きれいだから。
<p>タンポポ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昔なつかしい詩にあるように手をつないで新町の融和を図るイメージがよいのではないかと思います。 ・よく見つけるからです。 ・かわいい。
<p>ヒガンバナ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町内で多く見られ、古来から飢饉の非常食・畦を守る植物として農村においては愛着を持たれ親しまれてきた。 ・旅行に行った時ヒガンバナがあらゆるところに見事に咲いていたのを思い出し京丹波町に植えたらと思い候補として選びました。 ・丹波の山里、田畑の畦畔を秋の彼岸頃一面の燃えるような赤に染め、縦貫、国道、鉄道の沿線が楽しめるようにしてはどうか。花期は短いが雑草を抑制するため草刈労力を減らし、イノシシの土手崩しも防げるのではないかと。(北向き斜面では生育不良かもしれない。子供にも植えられ思い出作りにもなる。1球植えれば3～5年で株になり咲きはじめ永存する。)
<p>キク</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・丹波自然運動公園菊花展から。 ・小さな花から大輪まで花の寿命も長く愛好者も多い。菊人形の思い出も。過疎の町に大輪の輪が広がれば。
<p>コスモス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・秋風にゆられ、色とりどり、さわやかな花。 ・町の「食」が最も宝庫でPRできるときに町そのものをやさしく色付け、田園風景の良さも同時にPRできるため。
<p>アセビ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全株が有毒だそうです葉の煎汁は殺虫剤・皮膚病薬だそうです。山で一番に咲いて長く咲くようです。 ・春には一番多くこの地域で見られます。アセビが松茸の秋の収穫量を予想するとの事。
<p>ツバキ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・寒い地域なので春を待ちます。春一番に咲く花です。 ・青々と一年を通じ色取々美しい花を付ける。

花 <選んだ理由>

ハナミズキ	<ul style="list-style-type: none"> ・春に花、秋に実をつけ、花は上を向き常に発展をあらわす。 ・花言葉に公平にするという意味があるので。
バラ	<ul style="list-style-type: none"> ・あちこちにいっぱいバラが咲いていたら、うれしくなりますので。 ・美しい花というイメージがあるから。
ミツバツツジ	<ul style="list-style-type: none"> ・4月、雑木の中に紅紫色の花がやわらかく感じられ、とても美しい。 ・色が鮮やかで目を引くと思います。
ヤマサクラ	<ul style="list-style-type: none"> ・山桜が各地に生育し、清楚な花は丹波高原の春にふさわしい景色を写している。松枯れ林を山桜の山に向かって改善することも考えては如何なものか。 ・旧3町どこでも見られて、なお且つ寿命が長い桜として本町の末永い幸せを願い選びました。
ヤマユリ	<ul style="list-style-type: none"> ・町内全域で生殖しており、瑞穂小学校の校歌にもなっている。 ・豊かな京丹波の里山をイメージするのに適した花で、「人生の楽しみ 荘厳威厳」が示す花言葉に過疎高齢化が進む中でも着実に発展していく、町の姿を重ねたい。
コバナ ミツバツツジ	<ul style="list-style-type: none"> ・春の山に鮮やかな心に残る色、鮮明に覚えていられる。
モクレン	<ul style="list-style-type: none"> ・春、あちこちの庭先で濃紫色と淡紫色の大きい花をつけ、鮮やかな姿が印象深い。また清らかな白い花もある。町内に春の訪れを告げる花である。
アカネ	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌からです。
アザミ	<ul style="list-style-type: none"> ・山野の里道にピンクの花と異様なとげをつけて、初夏から秋にかけて咲くあやしげな花ではあるが農山村風景の代表的な花である。
アジサイ	<ul style="list-style-type: none"> ・動いて動いて時には静かに清楚、可憐に今を知る。
サツキ	<ul style="list-style-type: none"> ・小さい頃から周囲に植わっていて身近に感じるから。
スズラン	<ul style="list-style-type: none"> ・花言葉「幸福が帰る」「意識しない美しさ」「純粹」から。
セッコク	<ul style="list-style-type: none"> ・ラン科の常緑多年草。古来薬用にされ、長く飲用すれば長生き出来ると言われ長生草、長生欄と呼ばれた種類は多く、花の色美しく香りもすごく良い。素朴な美しさがある。
シャクナゲ	<ul style="list-style-type: none"> ・高原にふさわしい。
ソバ	<ul style="list-style-type: none"> ・最近ツバを作る農家が増えて田や畠に目立つようになった。
ネム	<ul style="list-style-type: none"> ・長い年月しっかりと幹を太らせ、青空に向かって可憐なやさしい花を咲かせ、夜になると静かに眠りにつく。又次の朝は思いっきり躍動する。元気がもらえる花です。

木 < 選んだ理由 >

アカマツ

- ・男らしく...しかも我が地域の誉れの「マツタケ」の象徴です。
- ・丹波の名産松茸を生産する木として当町のシンボルとすべき木。
- ・丹波にふさわしい。
- ・丹波マツタケ有名だった頃の山行きが忘れられない年代です。山々のアカマツが未来に向けて健やかに育つことを祈念しています。
- ・丹波特産のマツタケを増やして他町や他府県に食べてほしい。
- ・風雨に耐えて大きく成長する。勇気と力を与えてくれる松。
- ・町の特産作りの原点として。
- ・松茸が出るのが町民の気持ちです。沢山松茸が出れば心も豊かになります。
- ・親しみやすい。
- ・昔のように松茸がたくさん取れ、笑みが多く心豊かに暮らせるように。
- ・松茸は当地方の特産物で原木は建築用材やパルプ等になる。
- ・松林整備と共に大切にしたい。
- ・赤松林に入れば足場もないほどの松茸。丹波の誇りをもう一度。
- ・年々松茸も少なくなってきました。町全体でアカマツを育てましょう。
- ・日本一の丹波マツタケの増産を図る。
- ・緑の山に柔らかい松葉と赤い樹皮のコントラストが非常に美しい。
- ・京丹波に達しての山林の木々でんまさに代表する樹木だと思います。
- ・祖父母が松茸の観光を昔していて、楽しかったと聞く。松林いっぱい松茸がでるといいな。
- ・この町で全国的に有名であるのは松茸で、その生みの親の赤松をシンボルとしたい。
- ・町内森林で多くを占有している常緑樹種である。マツクイムシ被害に耐え山林頂部に広く生育し力強さを示している。
- ・松の中でも優れている。
- ・旧町のシンボルは消えないでほしい。まっすぐ伸々と成長していく町をめざして選びました。
- ・丹波松茸の里だからやはり赤松です。
- ・雄々しい。
- ・平和。
- ・少なくなった松、やっぱり松は姿も日本的。山々に赤松がよみがえるようお願いを込めて。
- ・「杉」や「桧」等々、山に囲まれた町でありよく目にするが「丹波松茸」の産地でもあり、アカマツのイメージが強い。
- ・アカマツを沢山育て、丹波マツタケを有名にしたい。
- ・丹波松茸はアカマツのシロから出るのでそう考えました。
- ・山々に赤松が無くなってきているが、丹波と話が出ると松茸の話が出る。もう一度昔のように赤松があればと思っています。
- ・松茸の産地。
- ・マツクイムシによる被害で少なくなっているが、やっぱりマツタケに関係するアカマツ。
- ・日本一の松茸の産地として復活する願いを込めてアカマツとしたい。
- ・アカマツの産地をもう一度よみがえらせたい。
- ・丹波松茸のシンボル。
- ・瑞穂地区のイメージ。山にアカマツが沢山生えておりよく目にする。自然豊かな感じがする。
- ・丹波特産の「マツタケ」の再生を期して町民全体で大切に守り育てたい。
- ・松茸の名所地。
- ・松茸の産地として名高いのでアカマツをと 생각합니다。
- ・子供の頃、イドコからこぼれ落ちる程のマツタケを採った思い出が脳裏に焼きついている。里山整備をし丹波と言えば丹波マツタケとイメージ出来る様な町になればいいと思う。
- ・松茸の産地として当然。
- ・丹波地方といえば松茸。木といえば最近ではめっきり少なくなりましたがアカマツ林を最初に思い浮かべます。松茸がまた沢山できてほしいという思いもこめて候補に挙げます。

木 < 選んだ理由 >

	<ul style="list-style-type: none"> ・丹波松茸の出る町としてふさわしく残していけたらと思います。 ・全国に誇る松茸であるので。 ・全国一の松茸をアピール。耐松枯れ性品種を!。現在残っている赤松からも種子が沢山落ちてい幼苗が尾根や空き地に生えている。雑木刈りなど手入れが必要。 ・松茸のイメージに合うから。 ・枯れてきたとはいえ「アカマツ」の恩恵は偉大である。 ・目に触れる機会の多いマツ。 ・丹波はやっぱりマツタケだから。
<p>クリ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・旧和知町のがよるしいから。 ・クリは実のなる木。京丹波町も希望あふれる町にしたい。 ・やはり丹波は丹波栗です。 ・京丹波と言ったら丹波栗が有名です。 ・丹波栗。(有名です) ・知名度(丹波地方)が有り、地場産業として適している。大いに売り込める。 ・全国でも知られている丹波栗であるから。 ・なんといっても丹波は栗だ。 ・なんといっても京丹波町にふさわしい木だと思います。 ・おいしい。特産品。 ・昔から名声高き丹波栗。当町にも多く栽培され、ブランド産品であり町最大の特産物である。 ・以前、京都新聞に記事が紹介された。世界に通用する丹波栗の復興を通じて自然豊かな「丹波」の名を全国に響かせるという内容。京丹波町あげて後押しを。 ・丹波の特産品であります。 ・丹波地方はやはり栗でしょう。 ・栗と言えば丹波栗と全国的に知らされており、木、実共に京丹波町を代表するに相応しいと思う。 ・古来から丹波を象徴する特産品。家の土台としても使用される。 ・旧和知町指定の木ではあるが、丹波と言えばマツタケにクリ。このブランドイメージは外せない。同じ丹波でも京都ならではの京都丹波を代表する木として大切にしていきたい。 ・丹波栗産地だから。 ・クリ大好きです。 ・初夏に花を咲かせ、秋にはしっかり実をつける。先祖から引継いできた栗の木。この町の全域で元気に育ち、又栗農家の生活と心に生きがいを与えている。皆の好物。栗の木頑張れ。 ・丹波と言えばやっぱり栗でしょう。丹波クリのイメージがあります。 ・京丹波町の特産であるクリの実をつける木は、町民誰もが親しみを持つ木である。 ・丹波栗の名声は広く行きわたり今後も有望な特産物として期待される。 ・6月はむせる様な白い花。秋は栗拾い。栗ご飯が楽しみです。 ・特産品のイメージ。 ・特産品で多く見る木。 ・丹波栗は全国的に知られており、その丹波栗の普及推進するために栗の木を選定した。 ・町の特産として推進するためにふさわしい。 ・丹波栗が名声だから。 ・丹波町の栗はおいしいからです。 ・丹波栗をイメージ。 ・丹波栗の産地を再興する意味をこめて。 ・和知名産で。 ・町内で力を入れて作られているので。 ・旧和知町のシンボルであるが、丹波栗は地方の名産でもあり啓発が行いやすく、親しみやすい木である。

木<選んだ理由>

<p>サクラ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公園、墓園に桜があるから。がんばろう京丹波。 ・きれいだし鳥が集まる木だから。 ・きれいだから ・町のどこにも植えてあるから。 ・花でもあると思いますが、この木の花を見ると心がいやされます。 ・町内にもサクラを植えている団体もあり、時期は短いですが桜が咲くだけで"人は集う"ため。町への呼び込みにもつながる。 ・色鮮やかな春を彩り、「桜街道」をつくる取組みが町内各所で行われているため。 ・広く町内でも見かけることができる。上和知地域では桜街道として植栽などが行われており馴染み深い。
<p>イチョウ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・和知の大銀杏、B&G付近の銀杏並木、自然公園の銀杏など、それぞれの旧町にも公的な場所にもあり、どこから見てもどこに行っても見つけられる存在感のある木だから。 ・イチョウ並木がとてもきれいですばらしいです。 ・振り返ればいい人生。緑、黄、セピア色に彩り変化。いいな人生って。いいな京丹波って。 ・おかぶとめかぶがある落葉樹でめかぶに銀杏・・・食用。 ・学校の校庭にも植えてあり秋には色づき美しい。又実も食用として使用される。 ・グリーンランドみずほ、須知高校の並木や旧和知第2小学校のグラウンドのイチョウにちなみ。
<p>モミジ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一年中色を変え力強い姿を見せてくれる。 ・杉の植林ばかりでは若い嫁さんも来ないのではないか。秋のカラフルな風影で町のイメージアップを高めたいものである。 ・町内の寺院や神社に多くあり、いかにも日本の秋という感じ。 ・一年を通じて楽しめるため。 ・秋にたくさん咲いてきれいだから。 ・綺麗だからです。
<p>ヒノキ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本町は自然条件がヒノキの生育に適しており、多く植林・自生している・各地で優れたヒノキ林が見られ、「丹波ヒノキ」の名でも知られている。 ・先人が植林された山々にヒノキが大きく成長しました。 ・山林面積が大きく占める町として、質量共にシンボルにふさわしい。木材の不足、低迷の打開が農村の大きな課題の一つである。 ・町内には実生のヒノキも多く桧山村の地名もあり、ヒノキの人工林も多いので優良材を生産する目的でヒノキとした。
<p>コブシ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・旧3町どこの山にでも見られ、早春の目印。 ・春一番山々を新しく息吹き様子は丹波高原らしい。松は良いが現在は松枯れが多い。 ・白い花が咲き多くの花が咲く時はお米が豊作と言われています。 ・丹波松茸にちなみ、この木の花が咲くとたくさん出るといふ言い伝えがあるため。
<p>クヌギ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町内で多く植樹され、シイタケ、炭として活用されている。 ・ブナ科の落葉樹で雑木林に多い。シイタケ栽培の原木に多く用いられ、町民の生活に必要な身近な木である。
<p>ウメ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・名前の一部から。
<p>キンモクセイ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人的に好きだから。
<p>モクセイ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・花の香りは最高です。
<p>ケヤキ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・百年の計画。
<p>スギ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・春夏秋冬と緑が有り日本の杉と思う。
<p>ツバキ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・我が家のみんなが好きなのですから。そして家のまわりにはいっぱい椿があります。

木 < 選んだ理由 >

ヤブツバキ	・大きくなり実がつきその実を集めて何か商品として売ることが出来ればと思います。
ヤマザクラ	・山に咲いていてきれいだと思うから。
サンショウ	・人生にはとげもあり、ピリと辛い。京丹波町はその良生き様もある所をこれから見せますよ。
オトコマツ (クロマツの異名)	・寒くとも厚くとも一年中緑の色を変えることなく、一寸と触ればチクリと肌をさす武器を持ち、どんと構えて四方八方に目をやり、平和であれと見守っているかのように。男松は力強く生き抜く木です。
モミ	・クリスマスっぽい。
ネム	・その字のごとく心をひとつに合わせて喜び楽しみを共有してゆく。京丹波町民のイメージと重なります。子ども達にも「ねんねのねむの木」としていつまでも語り継ぎたい。

鳥 < 選んだ理由 >

ウグイス

- ・四国からの友達が我が家(丹波)に居てウグイスの声を聞き、喜んで帰られた。
- ・春の訪れを告げる鳴き声はウグイス無くして語れない。
- ・暖かくなってくると美しい声が良く聞こえてくる。
- ・丹波にふさわしい。
- ・詩吟を始めてやめようとした時、息子がウグイスだって随分練習して上手くなるらしいよと申しました。歌の教室で20年近くレッスンを続けられるのは息子がウグイスのこと教えてくれたおかげです。
- ・旧和知町のがよろしいから。
- ・姿は余り見せないけど澄んだ声は美声を聴くと春、暖かさを感じる。
- ・いち早く春を告げる希望の鳥。町の限りない発展を願って。
- ・控えめで出しゃばらないが力強く春の訪れを告げてくれる。京丹波町民として「ホーホケキョ」の鳴き声を忘れないでいきたい。
- ・鳴き声がとてもきれい。春が来たと思わず顔がほころびます。
- ・美しい鳴き声で聞いていて幸せを感じます。
- ・幸せを感じる鳴き声が良い。
- ・小さい鳥でも声が美しくよく聞こえ、皆様も声を大きくし活発に行動して町づくりしましょう。
- ・春が近づくと必ず当地にもやってくる。鳴き声が可愛くてうきうきする。
- ・見たこともない鳥よりも声を知っている。
- ・可憐な容姿と鳴声の名調子。人に優しく音楽を楽しむ明るい町になることを祈念して。
- ・春を告げる鳴声は山里ならでは味わうことができないと思います。
- ・初夏にかけてのウグイスの声は山里にかかせない情景である。
- ・春をつげる鳥。
- ・梅の開花と共に鳴いているウグイス。年度の幕開けとなる京丹波にふさわしい鳥です。
- ・高山、低山帯にて繁殖も多く、よく春を告げる歌詠鳥にて万葉集その他にも歌として出てくる鳥である。
- ・小さい子供でも知っている「ホーホケキョ」。聞けば誰でも心が楽しくなって来るので。
- ・広く生息し多くの人に親しまれている。よくとおる鳴声が陽春の躍動感を与え春の訪れを知らせる鳥である。
- ・鳴声はすばらしい。
- ・旧町のシンボルは消えないでほしい。美しい透き通った町への願いを込めて選びました。
- ・春の訪れを感じるから。
- ・潤い。
- ・冬を除いてずっと鳴いているような・・・。
- ・春が来たよ・・・と唄ってほしい。
- ・春を告げる鳥であり、のどかな季節でもある人の心を和ませます。鳥が自然豊かな本町にふさわしい。
- ・別名「春告鳥」、厳しい冬の終わりを告げる「ウグイス」の鳴き声は人々の心を明るくする。
- ・京丹波の高原にさえずり高くホッケキョと子供の弾む声に似たり。
- ・四季を誇る丹波高原の春の音を象徴する。
- ・声が美しいから。
- ・梅の花が咲く頃、人里近くでホーホケキョと鳴き始める事から、(春告鳥)とも呼ばれ、昔から親しまれている鳥だから。
- ・春一番にきれいな声で鳴く鳥なので。
- ・なつかしい。
- ・緑豊かなこの地に似合うと思う。春浅い頃、ウグイスの鳴く声はやすらぎを感じる。
- ・春一番を告げて鳴く他に類ない美声である。町内一円に美しい鳴き声が聞かれる。
- ・春告鳥とも言われ、庭先の枝に止まってなく声に「ア～やっと思ひ閉鎖的な冬から開放され春やなあ」と感じさせてくれ、心もウキウキさせてくれるので。
- ・大倉ヒヨ谷の山に、又近くでウグイスがいつも鳴いている。
- ・私達の近くでもウグイスの声を聞きます。声、鳴き声がきれいですね。
- ・長い冬が終わることを示してくれる。春の訪れを感じさせてくれる鳴き声。
- ・鳴き声が美しい。長い冬が終わり春の訪れを感じる。
- ・近所にいるから。よく鳴き声が聞こえる。

鳥 < 選んだ理由 >

- ・家の近くで見るから。
- ・比較的身近に存在しているから。
- ・自然の美しさや豊かさをPRするために良く知られていると思われるため。
- ・鳴き声をよく聞く。春告鳥。
- ・春告鳥の別名があるので、明るい未来を感じるの。
- ・春頃には軽やかなさえずりで心を癒してくれる。色合いが京丹波町のイメージにマッチする。
- ・春の杉の木立ちの中から聞こえるささやくような声にいやされます。

- ・朝霧の中で鳴く「ケンケン」の声で目覚める朝は最高です。
- ・家の近くや田んぼの近くでよく見かけます。しっぽのきれいな鳥です。
- ・美しい鳥の代表で、鳴き声も大変元気がよろしい。
- ・家のまわりをの道をよく散歩してます。かっこうよく、王者みたいなかっこうがいいです。
- ・京丹波の野山には沢山います。
- ・会社の通勤道でよく見かけた。
- ・飛び立つ雄キジのように京丹波町も若者が勇壮を見せてほしい。
- ・犬との散歩にいつも出くわし、びっくりさせられるキジ。何とも愛らしい。
- ・ウグイスも確かによく聞くがキジの鳴声のほうが多いように感じる。
- ・日本の国鳥でもあるが、高原に位置する町として、鳴く声も含めてふさわしいと思います。
- ・前の畑にキジのつがいがありました。野生の楽園こそが京丹波町です。
- ・年代は忘れたが紙幣に出たこともあり。
- ・キジは全体暗緑色で複雑な美しい色で尾も雄は長くて良い。
- ・きれいな鳥。
- ・凛々しい姿、精悍なスタイル。
- ・とてもきれいな鳥。
- ・鳥の中でも美しく雄々しく夫婦仲良く頼もしいと思います。
- ・雄の姿は立派。色合いもきれい。雌はこじんまりつつましい。雛をこよなく大事にする。平和な丹波を感じます。
- ・キジの姿がとてもすばらしいから。
- ・姿の美しさ。
- ・昔からキジが鳴くと地震の前兆と聞かされてきました。木に登らない地面で生存の鳥です。
- ・丹波地区のイメージ。
- ・鳴き声で誰にも分かりやすく田畑の多い我が町にふさわしいのでは。
- ・環境にやさしくのどかなイメージで。
- ・第47回愛鳥週間でキジの放鳥を放って増えている。
- ・平成5年、第47回愛鳥週間に常盤宮夫妻が来町されてから増えていると思われ、よく見かけます。
- ・屋敷近くでも良く見かける事が出来るので。
- ・畑で卵を抱くキジを良く見かけます。保護するとともに町の鳥としてふさわしいかと思えます。
- ・朝日が上がると同時に鳴く。キジの声は丹波の里に合う鳥である。
- ・丹波高原でよく見られる。
- ・毎日のようにキジの鳴き声が聞こえ、自宅の前の道路を横断していたりするのを見かける。おばあちゃんの家ではキジの鳴き声を聞いた事がないので丹波町だけなのではと思えます。
- ・大きくて美しい。
- ・京丹波町内で最もよく見かける鳥であり、親しみを感じるため。
- ・丹波地区で普通に育つ鳥である。(庭で卵をかえしたこともあります)
- ・よく見かける。
- ・丹波高原で見たい。
- ・田んぼや林道などで気軽に見かけます。キジを他の地域でこれほど見かけることはないのではないかと思いますし、京丹波の特徴といえるのではないのでしょうか。
- ・旧丹波町のシンボルであるが、分布は広く一般になじみのある野鳥である。雄の体色は美しく飛翔を予感させる。
- ・雄キジの華やかな美しさと雌キジの雛を後に連れて歩く姿は見ていて非常に微笑ましい。

キジ

鳥 < 選んだ理由 >

シジュウカラ	<ul style="list-style-type: none"> ・シジュウカラは一夫一妻で協力し合う。京丹波町も旧町関係なく協力し合い、良い町づくりをしたい。 ・可愛い鳥です。 ・庭でよく見る鳥です。親しみのあるシジュウカラは私たちの身近な鳥です。鳥の中でいち早く春を告げてくれます。 ・家の周りに集団でやってきます。 ・とても可愛いです。 ・あまり一般的に知られていないが、美しく鳴き声も可愛い。小さいながらも自分の存在を主張しているようで京丹波町のあり方に似ているように思う。
ツバメ	<ul style="list-style-type: none"> ・生まれた場所に必ず帰ってくる習性があり、ふるさとにも帰ってくる人々に当てはめ、それを願いとしてツバメを選ぶ。 ・スピードに飛びまわるから。 ・どんな状況の中でも必ず同じ所で代々に伝わって子孫をもうけ、増やしてピーピーと来た事を告げて行く姿に共感、感銘しています。京丹波町もこのようにいつまでも過疎化しないで笑い声を絶えない明るく人の集まりやすい地になってほしいものです。 ・春暖の頃遠く南方より幸せを運んでくれる鳥と言われ、すみかの一寓に巣を作り害虫駆除を兼ねて子育ての情景は頼もしい。 ・飛ぶ時は弓のように早く飛ぶ。いつの間にか古巣に帰り夫婦で力をあわせて巣を作る。卵を産み沢山雛をかえして、朝早くから夜遅くまで餌を探して与え育て上げる。今の世は自分の子を自分の手で小さな命を絶つ親の事件を聞くたびにツバメのような愛ある家庭が出来れば幸せな世の中が来ると思います。 ・民家の軒先などで巣を作り、よく見かけることや鳴き声が美しいため。 ・福祉センターほほえみ、京丹波町病院などに巣を作っている。
メジロ	<ul style="list-style-type: none"> ・ピンク色と相性がいいと思ったから。 ・目の周りが白くウグイス色(グリーン)でかわいいです。声も朝聞くと心がなごみます。 ・チーチーと細い高い声で鳴き、人里の木に留まるかわいい鳥であるから。 ・やさしい鳴き声で小さく可愛い。京丹波町の人々のやさしさと小さくても野生の強さを感じさせる鳥。
シラサギ	<ul style="list-style-type: none"> ・コウノトリ目サギ科の鳥。全身白色で田んぼの虫などついばむ。町内の至る所で見られ、長い足と白い王冠をかぶったような美しい姿が優雅である。 ・よく見かけるから。 ・田んぼでよく見かけるからです。
トビ	<ul style="list-style-type: none"> ・大空とは言えない山の間を大きな輪を描きながら飛ぶ姿は見とれてしまいます。 ・山紫水明郷の大空を飛ぶ。大青空を飛ぶ雄姿。ピーヨヨ。 ・年中身近に住んで高く舞いトラクター音を聞きつけてそばに下りてくる。田園生活になじんだ鳥だが独立して生きているのがすばらしい。
スズメ	<ul style="list-style-type: none"> ・めっきり少なくなってしまったけど、スズメ = 子供達のイメージ。スズメも増えて子供達も増えて…。 ・小さい。かわいい。学校の先生。
セキレイ	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な野鳥でさえずる声がいい。一夫一妻で繁殖するのもいい。 ・庭の巣箱に毎年巣作りをしてくれます。
ヒバリ	<ul style="list-style-type: none"> ・今後麦も伸びてくると考えられ、駆け昇る飛ぶヒバリ、空高くどこまで飛ぶのか期待したい。
ヒヨドリ	<ul style="list-style-type: none"> ・決して美しい鳥ではないが、群れをなして飛ぶ姿はとても美しい。一羽一羽は美しくないが群れをなし飛ぶ姿が雄大で美しさが良い。 ・身近にいる鳥として浮かびました。(干し柿をつつきにきます)
フクロウ	<ul style="list-style-type: none"> ・幸せを呼ぶ鳥だとききますので。 ・夜明前に毎日のようにホーホーと鳴いています。幸せを感じます。

鳥 < 選んだ理由 >

カワセミ	・綺麗な色をしているからです。
クジャク	・きれい。
アヒル	・新幹線がオープンしたから。
キセキレイ	・家の近くに飛んでいるから。
コゲラ	・キツツキの一種で町の各所で見られる。キツツキが樹をつつく音をドラミング(太鼓をたたく)といい、旧町ごとにある太鼓にも通じる。また、高原の町のイメージにつながる。
カラス	・制定町が少なく、インパクトがある。どこでも身近に見られ、又定住性がある野鳥であり大人から子どもまで名前を知っている。